

猫はおうちの中で飼おう

一昔前までは、「猫は自由に生きるものであり、屋外で放し飼いにするのが正しい飼い方だ」と考えている人も多かったのではないのでしょうか。しかし、住宅環境が整備された昨今、「交通事故」や「猫同士のケンカ」、「病気をうつされる」など、猫にとって屋外は危険がいっぱいです。

また、地域住民に糞尿で迷惑をかけたり、車を傷つけたりといったトラブルの元になりかねません。

猫は、おうちの中で上下運動やリラックスできる場所を用意すれば、ストレスなく飼うことができます。

◆ 室内飼育の いろは ◆

(い) 猫にとって居心地のいい環境を整えましょう。

平面移動だけでなく、上下の運動ができるように工夫しましょう。高いところを好む猫にとって安心できる場所を与えることができるだけでなく、運動不足を補いストレスの軽減にもなります。

また、部屋の中の静かな落ち着いた場所にトイレを準備しましょう。猫は、本来清潔好きで、自分の糞を一定の場所に埋める習性があります。猫の体格と頭数に合わせた清潔なトイレを用意してください。

(ろ) 不妊・去勢手術をしましょう。

「不妊去勢手術はかわいそう」、「かわいい子猫を見たい」と、軽い気持ちで生ませても、すぐに10頭を超え、ほんの1～2年で数十頭にも増えてしまいます。なるべく早い時期に不妊去勢手術を受けさせましょう。

手術をすることで、発情期に独特の大きな声で鳴くことも少なくなり、発情期のストレス軽減、生殖器の病気予防、マーキングの減少にも効果があります。



(は) 健康管理に努めましょう。

猫の健康を保つために、かかりつけの動物病院を決めておき、普段から愛猫の健康管理に注意し、予防接種やノミなどの外部寄生虫の駆除もしっかり行なっておきましょう。



⚠ 多頭飼育の危険性

世話ができる以上に猫を増やしてしまい、十分な食餌も与えず、ふん尿の掃除も行き届かないような劣悪な環境で飼育する行為は動物虐待にあたります。猫を2頭以上飼っている方は誰でもこのような状況に陥る可能性があるため、不妊・去勢手術を行い計画性を持った飼育をしましょう。